

## 部会長巻頭言

### ～今後の部会のために～

#### (1) 部会長就任のご挨拶

本年4月より粒子流体プロセス部会の部会長を仰せつかりました。これまでの部会長を見てみますと、神戸大学・薄井先生から九州大学・梶原先生はいずれの先生方も、私が学生時代から名を馳せたカリスマのある先生方です。また前々部会長の神戸大学・鈴木先生と前部会長の岡山大学・後藤先生は第一線で活躍中の有名な先生方で、私の力量ではとても務まる仕事ではないと、前部会長から打診があった時、強く感じました。また、これまでは基本的に、大講座制の先生方が部会長に就き、その研究室のスタッフで部会事務局を運営するパターンが多かったようです。私が所属する学科は小講座制で、スタッフがおらず、この点からも、当初はお引き受けできないとお返事しておりました。

しかし、昨今の大学や学会を取り巻く状況は、多くの雑用に忙殺され、本来の研究に十分な時間を避けず、多くの研究者が疲弊しています。見方を変えれば、私のような者でも部会長が務まるような環境を整えれば、今後は様々な方に容易に引き受けて頂き、部会の発展に尽力頂けるのではないかと考えるようになりました。幸い、前部会長の後藤先生と事務局をご担当いただいた三野先生に、部会の仕事をかなり簡素化していただきました。しかし、それでも、引継ぎをして半年近くなりますが、十分な運営ができておらず、部会事務局の仕事はまだまだ負担が大きいのが現状です。この辺を在任期間中に改善したいと考えております。

さて、先に述べましたスタッフの件ですが、今回、部会長の重任を仰せつかるにあたり、群馬大学の野田先生のご協力をいただいたことを記しておかなければなりません。事務局の運営において、野田先生と研究室のスタッフの皆さまには多大なご苦勞をお掛けすることになり、大変恐縮ですが、快くお引き受け頂き、感謝の念に耐えません。厚く御礼申し上げる次第であります。

#### (2) 部会と分科会

部会の歴史は、部会のホームページに詳細が書かれておりますが、本部会は「ミキシング技術分科会」、「熱物質流体工学分科会」、「流動層分科会」、「気泡・液滴・微粒子分散工学分科会」、「粉

体プロセス分科会」の5つの分科会が緩く連帯する形で発展してきました。これらの分科会は、部会設置以前から「ミキシング技術」、「熱物質流体工学」、「流動層」、「気泡塔・懸濁気泡塔の装置設計」の4つの特別研究会で活発に活動してきた歴史もあり、会員の皆様が研究を進める上で、大変有益な組織となっています。そのため、これまでの緩やかな連帯は維持し、分科会同士の連携などにより、これまで以上の発展を目指すことを部会の役割として、企画運営をしていきたいと考えております。

#### (3) コロナ禍

新型コロナウイルスの影響で、昨年度の化学工学会年会は中止となり、今年度の秋季大会はオンラインでの実施が決定しました。部会の皆様におかれましても、大きな影響により、多大なご苦勞が発生しているものと推察いたします。大学におきましては、オンライン講義などの準備で、研究活動の方が停滞しているところが多いものと思われまします。しかし、どのような状況下でも研究を停滞することはあってはならないことだと考えますので、皆様と知恵を出し合い、部会や分科会での活動を活性化させたいと思います。皆様のご協力の下、ピンチをチャンスに変えて、部会をより発展できれば幸いです。

(部会長・桑木 賢也(岡山理科大学))

## 2020年度 部会幹事会報告

年会が中止となったため、議事についてメール審議と致しました。

審議期間:2020年3月18日(水)～3月25日(水)

議事:

### ● 報告事項

#### 1. 前回幹事会議事録の確認

2019年度第1回(2019年9月24日開催)の議事録案について承認を得た。

#### 2. 部会長会議報告

2019年11月28日に開催された令和元年度第2回部会CT・部会長会議の議事次第と同議事録について報告を行った。当該会議で部会活動に直接関連する案件は以下の通り。

・部会CT賞規則改訂について

「部会活動貢献賞」(通称「部会CT賞」)の規

則が、賞の本来の趣旨が明確になるよう改訂された。本賞は評価対象業績：原則として40歳までの業績とする。ただし、40歳以前からの継続であり著しく顕著な業績であれば41歳以降の業績も含めてよい。

表彰の対象：原則として業績をあげた個人が対象である。ただし、業績がグループによる場合はグループが対象となることを妨げない。

となっている。対象者は部会幹事会で審議の上、推薦することになる。

#### ・部会事務業務について

本件は、希望する部会の事務作業を本部に委託するという案件である。議事録からわかるように、各部会各支部運営方法の違いがあり、部会事務を本部委託が具体的になるには当分、時間がかかると思われる。

#### ・本部と部会・支部の経理上の課題に関する説明(事務局)

本件は、部会(当部会では各分科会)が保有する積立金や繰越金に関するものである。

本部事務より「公益法人として守らなければならない財務3基準の一つに、遊休財産額が公益目的事業費(含む償却費、新たな特定目的積立額)以下であることが求められているが、難しくなっている。既に支部・部会の資産額が公益目的事業費とほぼ同額になってきており、これ以上支部・部会の資産を増やすことはできない状況である。」という指摘なので、近い将来、積立金や繰越金を削減するよう求められる可能性があり次年度以降の経費使用をご検討いただきたい。

### 3. 2019年度部会・分科会活動報告

事務局で把握している活動状況の確認、および修正・追記をお願いした。それらを反映させた提出版を、総会資料としてホームページにて公開する。

### 4. 2019年度決算

各分科会にご協力いただき、化学工学会本部に提出したことを報告した。

### 5. 2020年度事業計画

各分科会にご協力いただき、化学工学会本部に提出したことを報告した。

### 6. 2020年度予算

各分科会にご協力いただき、化学工学会本部に提出したことを報告した。

## ● 審議事項

### 7. 2019年度部会賞受賞について

各賞受賞者は、既にメールで審議し、個別にはご承認いただいている。今回、年会が中止となったことから、以下の対応について検討をいただき、承認を得た。

受賞者は部会ホームページで公表済みであるので、授与式は行わず、賞状および副賞(額縁)を郵送するし、第51回秋季大会にて受賞記念講演を設定する。

### 8. 2020-2021年度部会長および副部会長について

前回の部会幹事会、および、その後のメール審議にて決定したように、部会長は分科会の持ち回り制とし、副部会長は次期および次次期部会長となる分科会より選出することとなった。その持ち回り順に従い、各分科会より、部会長、副部会長、事務局を推薦いただき、2021年度部会執行部(次期部会長:岡山理科大学桑木先生)について承認を得た。

### 9. 2020-2021年度部会幹事役割分担について

桑木 賢也 次期部会長候補より提出された部会幹事の役割分担案について承認を得た。

### 10. 部会事務補助員について

これまで事務局は部会長の研究室に所属する教員・スタッフが務めるのが通例であったが、複数教員で構成する研究室は少なく、特に今年度より部会長は分科会持ち回りとしたので、各分科会から部会長を推薦することが難しくなる可能性があるため必要に応じ、“分科会配分額に大きな影響の出ない範囲”を条件に、事務局補助員の雇用経費を予算項目として入ることで承認を得た。

### 11. その他

#### ・会計アルコールの取り扱いについて

分科会の会計上重要な事項のため、次年度以降の会計におけるアルコールの取り扱いに関して、再度確認を行った。

なお、部会幹事会議事録は部会HPからご覧になれます。

(事務局・野田 玲治(群馬大学))

## 2020 年度 幹事会役員の紹介

	氏名	所属	担当
部会長	桑木 賢也	岡山理科大学	
副部会長	寺坂 宏一	慶應義塾大学	行事
	仁志 和彦	千葉興業大学	部会賞
幹事	谷口 貴志	京都大学	国際会議 IWP1
	酒井 幹夫	東京大学	動画賞
	立元 雄治	静岡大学	ニュースレター
	木俣 光正	山形大学	シンポジウム賞
	三角 隆太	横浜国立大学	部会セミナー
	今中 照雄	神鋼環境 S	部会セミナー
	山田 真澄	千葉大学	ニュースレター
	押谷 潤	岡山理科大学	技術賞
	藤本 敏行	室蘭工業大学	フロンティア賞
企画幹事	伊奈 智秀	ダイセル	若手・女性育成
	坂倉 圭	出光興産	若手・女性育成
	秋山 聡	日清エンジ	若手・女性育成
監事	後藤 邦彰	岡山大学	
	山本 一己	綜研化学	
事務局	野田 玲治	群馬大学	

## 粒子・流体プロセス部会賞 (奨励賞・プレゼンテーション賞)

APCCChE 2019 における粒子・流体プロセス部会企画の "Fluid and particle processing" セッションにおけるシンポジウム賞(奨励賞)の受賞者は、静岡県立大学食品栄養科学部 増田 勇人 氏です。令和2年3月15日(日)に関西大学千里山キャンパスで開催される粒子・流体プロセス部会総会において、奨励賞の表彰式ならびに受賞講演会が執り行われる予定でしたが、COVID-19 の影響により会場での行事が行われず、ウェブ上にて要旨の閲覧が行われました。増田氏には、部会から賞状ならびに副賞の額縁が贈られております。

第51回秋季大会はオンライン開催となりますが、予定通り学生の口頭発表を対象としたプレゼンテーション賞および37歳未満の正会員の口頭発表を対象とした奨励賞がそれぞれ審査される予定です。しかし、残念ながら奨励賞については現在エントリー者0名の状況です。来年度は是非エントリーをしていただくと期待しております。

(シンポジウム賞担当・木俣 光正)

## 粒子・流体プロセス部会賞 (フロンティア賞)

2020年度のフロンティア賞の募集を行っています。化学工学論文集, J. Chem. Eng. Japan など、化学工学に関連する国内外の学術雑誌や同関連の国際会議等での査読付き Proceedings に掲載された論文の中で、特にフロンティア性の高い優秀な研究論文で、本部会会員が著者になっている論文を10月30日(金)までにご推薦ください。

募集要領は部会事務局からのメールをご覧ください。

(フロンティア賞担当・藤本 敏行)

## 粒子・流体プロセス部会賞 (動画賞)

2020年度動画賞は、化学工学会第51回秋季大会の以下のセッションにおいて発表された内容を対象に募集しました。

SY-52 熱物質流体工学の最前線 2020

SY-53 気泡・液滴・微粒子分散工学 2020

SY-54 粉体プロセスの進展2020

SY-55 ミキシング技術の最前線 2020

審査委員会を結成後、厳正な審査を行い、本年11月末を目途に受賞作品を決定します。本動画賞は、研究、技術、教育の各部門において授与されます。表彰式と作品鑑賞会は化学工学会第86年会時に行われる予定です。なお、受賞作品は部会 HP にもリンクしますので、過去の受賞作品とあわせて会員の皆様にご覧頂ければ幸いです。

(動画賞担当・酒井 幹夫)

## 粒子・流体プロセス部会賞 (技術賞)

2019年度の技術賞は残念ながら応募がございませんでした。現在、2020年度の技術賞の募集を行っております。自薦・他薦は問いません。応募締切は11月20日(金)です。

以下のホームページより募集要項、候補者推薦用紙、技術賞規程をダウンロードできます。部会会員の皆様からの多数のご応募をお待ち申し上げます。

<http://www2.scej.org/partfluid/data/hyosho/Gijutsu/gijutsu.php>

(技術賞担当・押谷 潤)

## 部会セミナー

第85年会のプログラムにあわせて、2019年度部会セミナーが企画されておりましたが、コロナ禍の影響で、大変残念ながら中止となりましたこと御報告致します。(セミナーの概要につきましては、ニュースレター第21、22号にて報告しております。)

2020年度部会セミナーは、第86年会にあわせて令和3年3月20日(土)午後開催される予定です。

●部会幹事会

●部会総会

### ●部会賞受賞記念講演

- ・プレゼンテーション賞(奨励賞)(選考中)
- ・フロンティア賞(選考中)
- ・技術賞(募集中)

詳細が決まり次第、部会のメーリングリスト等でお知らせ致します。

(部会セミナー担当・三角 隆太)

## 分科会からのお知らせ

### 熱物質流体工学分科会

2020年度、2021年度の熱物質流体工学分科会を下記のメンバーで運営することになりました。微力ではありますが本分科会の発展に尽力したいと存じます。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い、宜しく御願ひ申し上げます。

2020, 2021年度 熱物質流体工学分科会幹事  
谷口貴志(京大)代表, 三角隆太(横国大)副代表, 会計幹事, 庄司衛太(東北大), 増田 勇人(大阪市大), 貝出 絢(山口大), 金井 由悟(福大), 島田直樹(住友化学)

さて、化学工学会 第51回秋季大会(9/24-26)の前日に熱物質流体工学セミナー2020を下記の通り企画しております。

<熱物質流体工学セミナー2020>

日時: 9月23日(水) 14:45 - 17:20

開催形態: オンライン

[プログラム]

14:55~15:00 開会挨拶

15:00~16:00 講演 1

講演者 : 大西 領 氏

(東工大 学術国際情報センター)

講演題目 : 「マイクロスケール気象に対する大規模熱流体シミュレーション」

16:00~16:15 休憩

16:15~17:15 講演 2

講演者 : 松下 洋介 氏 (東北大学)

講演題目 : 「Tabulated chemistry を活用した反応を伴う熱流体解析」

17:15~17:20 閉会挨拶

また、翌日の秋季大会初日には、SY-52 [粒子・流体プロセス部会シンポジウム] 熱物質流体工学の最前線2020を行います。21件の口頭発表(オンライン)が行われます。

(分科会代表・谷口 貴志)

### 気泡・液滴・微粒子分散工学分科会

気泡・液滴・微粒子分散工学分科会の2020年度の行事をご案内させていただきます。大会一日目および二日目に気泡・液滴・微粒子分散工学

2020のセッションを企画し、24件の講演を頂くことになっております。本セッションにおいて2件の展望講演が予定されており、東京大学・越塚誠一先生から「粒子法を用いた自由表面流れと混相流のシミュレーションの現状と展望」という題目のご講演および山口大学・吉本誠先生から「リン脂質ベシクルの膜機能に及ぼす高分子鎖修飾と気泡の効果」という題目の講演をしていただきます。また、秋季大会会期中の9月24日に例年開催されている(第21回)気液固分散工学サロンをオンラインにて開催します。今年度は岡山大学・三野泰志先生より「実験を好む研究者によるコロイド分散系流れのシミュレーション」と題したご講演をいただきます。講演終了後にオンライン交流会も開催します。ご都合よろしければ、是非、セッションおよびサロンにご参加ください。

(分科会代表・酒井 幹夫)

### 粉体プロセス分科会

2020年度の粉体プロセス分科会は以下の体制で運営する予定です。

代表: 木俣 光正 (山形大学)

副代表: 藤本 敏行 (室蘭工業大学)

副代表: 瀬戸 章文 (金沢大学)

副代表: 福井 国博 (広島大学)

幹事: 秋山 聡、石神 徹、石原 真吾、岩崎 智宏、荻 崇、加納 純也、後藤 邦彰、佐藤 浩二、佐藤根 大士、下坂 厚子、曾田 力央、所 千晴、並木 則和、根本 源太郎、平野 博之、三尾 浩、山田 昌治、山中 真也、吉田 幹生

本分科会では、秋季大会(オンライン)において、シンポジウム「粉体プロセスの進展2020」を開催し、17件の発表を予定しています。

その他、粉体材料、粉体プロセスに関するシンポジウムに積極的に共催・協賛していきたいと考えております。共催・協賛の依頼は、分科会代表の木俣(kimata@yz.yamagata-u.ac.jp)までお寄せください。

(分科会代表・木俣 光正)

### 流動層分科会

流動層分科会の令和2年度および3年度は、代表: 立元雄治(静岡大学)、副代表: 押谷潤(岡山理科大学)となりました。

例年11月末から12月初めに分科会主催で開催している流動化・粒子プロセスシンポジウムは、今年第26回となり、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となります。11月26日、27日を開催日とし、岐阜大学の小林信介先生を実行

委員長として開催準備が進められています。大会のHPは以下です。

<https://gakujutsushukai.jp/fb26-2020>

発表申込期日が10月23日(金)となっています。

(分科会代表・立元 雄治)

### ミキシング技術分科会

ミキシング技術分科会では毎年、夏期セミナーを開催しており、本年度は九州地区での開催を予定していたが、今般のコロナ化禍の影響で開催を次年度に延期することとした(九州地区で開催予定)。

本年度はそのほかにも、開催が危ぶまれる行事が多いが、現時点で第30回関西・東海地区ミキシング技術サロンが10月13日にオンライン形式で開催されることが決まっている。企業からの講演2件を予定しており、今後のサロン、セミナー等の開催計画にも参考となる試みであり、多くの皆さんの参加を期待したい。

(分科会代表・仁志 和彦)

### 部会への入会方法

- 化学工学会の個人会員の方は、化学工学会HP(<http://www.scej.org>)の「各種申込>部会入会」より、お申し込み下さい。eメールなどの変更も、化学工学会HPで行えます。
- 化学工学会の会員(法人・個人)でない法人あるいは個人の方で、本部会の法人特別会員、特別個人会員入会をご希望の方は、下記の粒子・流体プロセス部会事務局までご連絡下さい。
- 分科会への入退会は、部会事務局へご連絡下さい。
- 本部会の法人特別会員、特別個人会員の方で、Eメール等の変更は事務局までお知らせ下さい。
- 詳しくは  
<http://www2.scej.org/partluid/nyukai.php> をご覧ください。

### 部会ニュースレター編集後記

執筆者の皆様には、新型コロナウイルス対策などご多用の中、原稿をご執筆いただきありがとうございました。例年とは異なる活動になっています。このニュースレターが部会活動の情報提供に寄与できましたら幸いです。

(ニュースレター担当)